

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 ＜キャリア・未来デザイン教育の視点＞ [探究的な学びの視点]
一 学 期	「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(10)			
	・総合って、どんな学習をするのか楽しみ。 ・「ものづくり」をしたい。 ・やすりを使うと、木材の表面がつるつるになって気持ちいい。 ・「大豆からもやしができるなんて、びっくりだ。」「大豆がこんなにいろいろな食品になっているなんて知らなかった。」 ・大豆って栄養満点なんだって。畑のお肉と呼ばれているって。 ・おいしい豆腐を作りたい。 ・おいしく作るコツを知りたい。	○昨年度の3年生の総合学習紹介を聞き、学習のイメージがもてるようにすると共に、やりたいことを考える。(1) ○ものづくりがしたいという思いがあるので、木片を紙やすりで磨く体験ができるようにする。(1) ○国語「すがたをかえる大豆」の学習から、大豆をテーマに「作る」活動をしていくことを確認する。(1) ○大豆に関して、育て方、歴史、料理など興味あることを調べる(3) ○作り方や材料を調べる(4)	・昨年度の主に3年生の総合的な学習の時間の資料を用意し、学習のイメージをもてるようにするとともに今年度のテーマに興味をもてるようにする。 ・紙やすりがもう削れなくなったら、番手を上げたやすりを渡す。 ・大豆に関する書籍を用意する。 ・各自で調べたことをロイロノートで互いに見合えるように設定する。 ・基準となる豆腐を用意し、試食できるようにする。	[1:課題を見出し、把握している] ＜③課題対応能力＞ ＜④キャリアプランニング能力＞ ○大豆には様々な加工の種類や歴史があり、日本の誇れる食文化の一つであることを理解している。 ＜②自己理解・自己管理能力＞ ◎自分が探究したことを生かして豆腐を作るために、自分なりに考えながら行動している。
二 学 期	「自分の追究したい豆腐を繰り返し作る。課題と向き合い、上手くなる」(26)			
	・まずは、豆乳を使って豆腐を作れるみたいだから、作りたい。 ・大豆はどれくらい煮ればよいのだろう。 ・上手く固まらないなあ。 ・形を整えるのが難しい。 ・思った通りの食感にならないなあ。 ・豆腐を作るための木枠を竹で作って、竹豆腐と言われているみたい。それなら、作れるかもしれない。 ・豆腐を固めるためには、温度を70～80度で煮続けなければいけない。 ・竹豆腐は水分が抜けないから、タッパーを使い、穴を開けて本当の豆腐の作り方をしたほうが良い。 ・豆腐作りは難しいからこそ、楽しい。 ・オリジナル T シャツを作って、研究発表会や学習発表会で着たい。	○豆腐作りに取り組み、さらにおいしい豆腐を作るにはどうしたらよいのかを考え、探究する。(12) ○豆腐用の竹で木枠を作る。(5) ○豆腐を作りながら、探究学習を進める。(9)	・豆腐作りでやってみたいこと、挑戦したいこと、わくわくすることなどを聞く。 ・竹はカビが生えやすいので、やすりで削るなどカビを生やさない方法を提示する。 ・豆腐作りを繰り返す中で、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。	◎豆腐作りや豆腐の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞ ●自己の取組を振り返ることを通して、より美味しい豆腐を作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。 ◎豆腐作りや豆腐の魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞＜②自己理解・自己管理能力＞＜③課題対応能力＞ ＜④キャリアプランニング能力＞
三 学 期	「豆腐の魅力を広める」「1年間の成果となる豆腐を保護者や地域に振る舞う」(16)			
	・学習発表会で豆腐の魅力を伝えたい。 ・自分たちの成長を、関わった方に見てもらいたい。 ・自分たちの考えた豆腐の作り方を紹介したい。 ・他の学年の人に豆腐作りの楽しさ、豆腐の魅力を紹介したい。 ・探究することが楽しかった。 ・おうちの人に食べて喜んでもらったのが嬉しい。	○豆腐の魅力をまとめる。(4) ○学習発表会等で豆腐の魅力を紹介する。(2) ○おうちの方を招き、「豆腐パーティー」を開催するために準備をする。(8) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2)	・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えるよう促す。 ・今までの学習の軌跡について、児童が自分の成長を、実感をもって話すことができるようたくさん記録をとっておく。 ・豆腐作りを通して学んだことを4年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。	○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。[2:課題解決の方法を考えている] ●豆腐の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。 [3:協働して学んでいる] ◎伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、豆腐作りの方法や豆腐の魅力を、適切な方法で表現している。[4:学びを振り返り、次につなげている] ＜④キャリアプランニング能力＞＜②自己理解・自己管理能力＞
材（豆腐作り）のもつ価値			材（豆腐作り）に寄せる子どもたちの思いや願い	
・豆腐作りを繰り返し行い、新たな課題を見付け、その課題に向き合いおいしさを追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。 ・豆腐は身近な食べ物なので、手作りのものと市販のものを食べ比べることができる。 ・自分の作った豆腐を食べてもらい、美味しいと言われることで達成感を得ることができる。 ・豆腐の作り方や豆腐料理などを繰り返し考え、試すことで、手作り豆腐への自信をもつことができる。			★大豆の栽培、豆腐作りなど、作ることが楽しく、もっとやりたいと思っている。 ☆手作りで豆腐が作れることをうれしく思っている。 ☆調理温度やにがりの割合などを工夫することで、美味しくなる豆腐をたくさんの人に知らせたいと考えている。 <div>★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い</div>	